

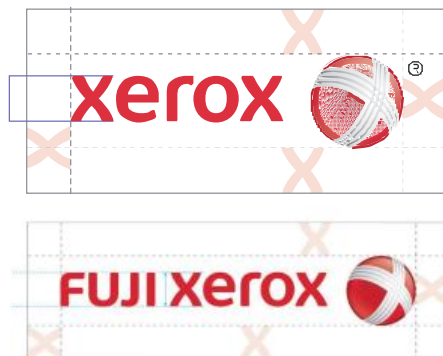
## コーポレートロゴの形状

### クリアスペース

ここに示されている最小限のクリアスペースは、コーポレートロゴの視認性を確保するために設定されたスペースです。設定されたクリアスペース内には、文字、写真、その他のデザイン要素を表示してはいけません。

最小限のクリアスペースサイズは、「x」の文字高が基準となります。

下記の詳細表示をご覧ください。



「x」の文字高は、ワードマークからではなくシンボルからの最小限のクリアスペースを確保してください。

### コーポレートロゴ

基本形のコーポレートロゴは印刷物、広告、ウェブ、アプリ、コマーシャルなどの大部分のアプリケーションで使用されます。



### サイズについての指示

コーポレートロゴが確実に認識される視認性を確保するための、最小使用サイズを設定しています。

#### 3ラインの最小使用サイズ (表示) :

印刷用 : 幅36mm  
ウェブ用 : 幅156ピクセル



印刷用 : 幅36mm  
ウェブ用 : 幅156ピクセル

### コーポレートロゴを小さいサイズで使用する場合

広告、パンフレットなどの印刷物やウェブでコーポレートロゴを小さくして使用する場合は、下に示す2ラインのコーポレートロゴを使用してください。

3ラインのシンボル部分の線が2本になっただけの違いですが、縮小したときにロゴをはっきりと見せる効果があります。



#### 2ラインの最小使用サイズ:

印刷用 : 幅27mmから35.9mm  
ウェブ用 : 幅104ピクセルから155ピクセル

必ず設定されたデータを使用してください。また、ワードマークとシンボルはいかなる場合も切り離して使用してはなりません。

特殊なケースでは、ロゴを縦に配置することができます (ただし、必ずワードマークを上、シンボルを下にします)。



4.ガイドラインに示されている以外のロゴ使用が必要な場合は、広報宣伝部にお問い合わせください。

#### CI問い合わせ

## コーポレートロゴのバリエーション

### 適切なコーポレートロゴの選択

コーポレートロゴは様々な用途に対応するために下記のバリエーションが存在します。

ニーズに合ったコーポレートロゴを選ぶためには、それぞれのバリエーションをどのようなときに使用すべきかを理解しておくことが重要です。



#### フルカラー・ポジティブ (3ライン)

説明：優先的に使用するコーポレートロゴであり、フルカラーで使用するのであればどこにでも使用できます。このコーポレートロゴは、白地または明るいカラー色の背景に配置します。

アプリケーション：販促用印刷物、半導体用品、映像画室、ウェブ、広告、サイン、バナー、パッケージ、トレードショールーム、スポンサードシップ、プレダクトなど



#### 単色ソリッド (3ライン)

説明：フルカラーまたはグレースケールのコーポレートロゴが表示できない場合に限り使用することができる、コーポレートロゴです。パッケージでのみ、このコーポレートロゴをゼロックスレッドで表示することが可能です。

アプリケーション：単色パッケージ、単色スクリーン印刷、エッチング、エンボス、デboss、プレミアム、プレダクトなど



#### フルカラー・リバーズ表現 (3ライン)

説明：原則として背景色は白または白に近い色としますが、暗い背景色にさざるを得ない場合で、フルカラー表示が可能な場合に使用します。

アプリケーション：広告、販促用印刷物、バナー、パッケージなど



#### 単色ソリッド・リバーズ (3ライン)

説明：フルカラーまたはグレースケールのコーポレートロゴが表示できない場合に限り使用することができる、コーポレートロゴです。暗い背景で使います。

アプリケーション：単色パッケージ、単色スクリーン印刷など

小さいサイズで使用する2ラインのコーポレートロゴもあります。2ラインは、シンボル部分の線が2本です。

下記の表示例は、3ラインのコーポレートロゴと、推奨アプリケーション例を示しています。コーポレートロゴは[FX BrandCentral](#)でダウンロード可能です。



#### グレースケール (3ライン)

説明：フルカラーでの表示ができないアプリケーションに使用する、グレースケールのコーポレートロゴです。

アプリケーション：新聞広告、業界誌広告、その他の黒白印刷物など



#### 2色ソリッド (3ライン)

説明：フルカラーのコーポレートロゴを表示できない場合に限り使用することができる、コーポレートロゴです。このコーポレートロゴは、背景が白または明るい色の場合に配置するのが適切です。

アプリケーション：スクリーン印刷、刺繍、スポンサードシップ、サインなど

## 誤った使用例

### コーポレートロゴの誤った使用例

本ページの中例は、コーポレートロゴの誤った使用例を示しています。

正しく表示を行うには、常にオリジナルデータを活用してください。

これらの誤った使用例は、2ラインにも同様に適用されます。



表示色を変えることはできません。



文書内にコーポレートロゴを配置することはできません。



コーポレートロゴそのものに手を加えることはできません。



ワードマークとシンボルの位置を変えることはできません。



別の書体を使用することはできません。



ワードマークやシンボルを立体的に示すことはできません。



ワードマークとシンボルのサイズの関係を変更することはできません。



コーポレートロゴに影を付けることはできません。



コーポレートロゴを歪曲することはできません。



シンボルのみで使用することはできません。



フルカラー印刷で2色ソリッドのロゴを使用することはできません。



単一色のソリッドロゴは使用することはできません。

## 背景のバリエーション

### コーポレートロゴのポジティブ表現とリバース表現

コーポレートロゴは原則として白または白に近い背景色に表示します。ただし、本ページの事例のように白以外の背景色に配置することも可能です。

背景色がブランドカラーのセロックス・ダークゴールドの時には、ポジティブ表現、リバース表現ともに使用できます。

それ以外のブランドカラーのときには、コーポレートロゴをリバース表現にします。この場合、ワードマークが白、シンボルが赤色のコーポレートロゴになります。

本ページでは、背景色に応じたコーポレートロゴの正しい使用例を示しています。

なお、ブランドカラーについては「ブランドカラーの仕様」を参照してください。

### 正しい使用例



明るい背景イメージの上にはコーポレートロゴのポジティブ表現を使用してください。



背景色がダークゴールドの場合はポジティブ表現も使用できますが、それ以外のブランドカラーが背景色の時には常にリバース表現を使用してください。



コーポレートロゴのリバース表現を使用するときには、コーポレートロゴのリバース表現を妨害する要素をまったく含まない暗い背景イメージを用いてください。



背景を黒にせざるを得ない場合には、リバース表現もしくはソリッド・リバース表現を使用してください。黒は「明るく、豊かな」というブランド属性に合わないため、背景を黒にするのは例外的なケースに限られます。

### 誤った使用例



ワードマークやシンボルが視認しづらくなるような暗い背景イメージの上にコーポレートロゴを配置するのは避けてください。



背景イメージの素材とコーポレートロゴの視認性とは競合するような背景を使用するのは避けてください。



ワードマークまたはシンボルが視認しづらくなるような明るい背景イメージの上に、コーポレートロゴのリバース表現を配置するのは避けてください。



ワードマークが背景色に可化して見え、シンボルの白いラインのみが目立つので、標準のフルカラー・ポジティブロゴは背景では使用しないでください。